

祭事のご案内

靖國神社では年間を通じて様々な祭事が執り行われますが、その中で最も重要な祭事は春秋に斎行される「例大祭」です。

また、お盆の時期にあたる7月13日から16日にかけて行われる「みたま祭」は、東京の夏の風物詩として広く知られており、境内には3万灯を超える奉納提灯や揮毫ばんぱりが掲げられ、多くの参拝者で賑わいます。

1月 1日 新年祭 7月13日 ~16日 みたま祭
2月11日 建國記念祭
2月17日 祈年祭 10月17日 ~19日 秋季例大祭
2月23日 天皇御誕辰奉祝祭 11月3日 明治祭
4月21日 ~23日 春季例大祭 11月23日 新嘗祭
4月29日 昭和祭 12月25日 煙拂祭
6月29日 御創立記念日祭 12月31日 除夜祭、大祓式
6月30日 大祓式

毎月 1日・11日・21日 月次祭 / 毎日 朝御饌祭、夕御饌祭、永代神樂祭



正式参拝・祈願参拝のご案内

心静かに神靈を偲ぶ本殿内の参拝(正式参拝)や祈願参拝をご希望の方は、参集殿受付(境内図④)まで、お申し出ください。

8:00 ~ 16:30 (3月~10月)
8:00 ~ 16:00 (11月~2月)

※正月、春秋の例大祭、みたま祭の期間中などは時間が異なります。
内苑開門時間 通常 午前6時
内苑閉門時間 1、2、11、12月 午後5時 3月~10月 午後6時

永代神樂祭のご案内

「永代神樂祭」は、神靈のご命日など縁ある日に神樂を奉奏し、永代に亘って神靈をお慰める祭典です。

祭典では、ご遺族が本殿に参列する中、神靈の御名前が奏上され、仕女が神樂舞を奉仕します。(祭資料 一件 10万円以上)

交通のご案内

J R ●中央・総武線各駅停車 「飯田橋駅」「市ヶ谷駅」から各徒步歩10分
地下鉄 ●東西線・半蔵門線・都営新宿線 「九段下駅」から徒步歩5分
●東西線・有楽町線・都営大江戸線 「飯田橋駅」から徒步歩10分
●南北線・有楽町線・都営新宿線 「市ヶ谷駅」から徒步歩10分
※お車でお越しの方 参拝者駐車場の入口は、靖国通り沿いにあります。

靖國神社

〒102-8246 東京都千代田区九段北3-1-1
電話03-3261-8326 FAX03-3261-0081



RO5.10.AE 第15版

由緒

参拝のしおり

靖國神社公式ホームページ
<https://www.yasukuni.or.jp/>



御祭神

靖國神社の起源は、明治二年（一八六九年）六月二十九日に建てられた「招魂社」に遡ります。

当時の日本は近代国家として大きく生まれ変わろうとする歴史的大変革（明治維新）の過

程にあり、そうした大変革は一方において国内に避けることのできない不幸な戦い（戊辰の役）を生み、近代國家建設のために尽力した多くの同志の尊い命が失われる結果となりました。

そこで明治天皇は、国家のために一命を捧げられたこれら人々の靈を後世に伝えようと、東京九段のこの地に招魂社を創建されたのです。招魂社はその後、明治十二年（一八七九年）六月四日に「靖國神社」と改称され、現在に至っています。

て斎しくお祀りされています。その中には軍人ばかりではなく、明治維新的さきがけとなつて斃れた坂本龍馬・吉田松陰・高杉晋作・橋本左内といった歴史的に著名な幕末の志士達をはじめ、戦場で救護のために活躍した従軍看護婦や女学生、勤労動員中に軍需工場で亡くなられた学徒などの軍属、文官、民間の方々も数多く含まれています。また、その当時、日本人として戦い亡くなられた

台湾及び朝鮮半島出身者やシベリア抑留中に死亡した軍人・軍属、大東亜戦争終結時にいたる戦争犯罪人として処刑された方々も同様に祀られています。このように多種多様な方々の神靈が、祖国に殉じられた尊い神靈として一律平等に祀られています。このように多種多様な方々の神靈が、祖国に殉じられた尊い神靈として一律平等に祀られているのは、靖國神社創建の目的が、「國家のために一命を捧げられたこれら人々の靈を慰め、その事績を後世に伝えることにあるからです。

靖國神社創建の目的は、明治七年（一八七四年）一月二十七日、明治天皇が初めて招魂社に行幸の折、お詠みになられた

我國の為をつくせる人々の御製からも知られるように、世の平安を願い国家のために一命を捧げられた人々の靈を慰め、その事績を後世に伝えることがあります。

明治天皇が命名された「靖

創建の理念

靖國神社には、幕末の嘉永六年（一八五三年）以降、明治維新、戊辰の役、西南の役、日清

戦争、日露戦争、満洲事変、支那事変、大東亜戦争（第二次世界大戦などの対外事変や戦争に際して、ひたすら「国安かれ」の一念のもと、国を守るために尊い生命を捧げられた二百四十六万六千余柱の方々の神靈が、身分や勳功、男女の別なく、すべて祖国に殉じられた尊い神靈（靖國の大神）とした

靖國八千代食堂（喫茶・軽食）
営業時間／10:00~17:00

鹿児島 知覧の富屋食堂で特攻の母と慕われた鳥濱トメさんの玉子丼を再現、会津のお米やお蕎麦、オリジナル和菓子のほか、抹茶・コーヒー・アルコール類の飲み物もご用意しております。

外苑休憩所



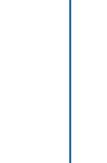
SAKURA -外苑直営ショップ-
(記念品・お土産)
営業時間／9:00~16:30



靖國八千代食堂

（喫茶・軽食）

営業時間／10:00~17:00



attic room YASUKUNI-GAIEN
/cafe & dining
アティックルーム 靖國外苑（喫茶・軽食）

営業時間／10:00~17:00



靖國神社
メールマガジン



オンラインによるお申し込みのご案内



御祈願



授与品・領布品



境内図
39

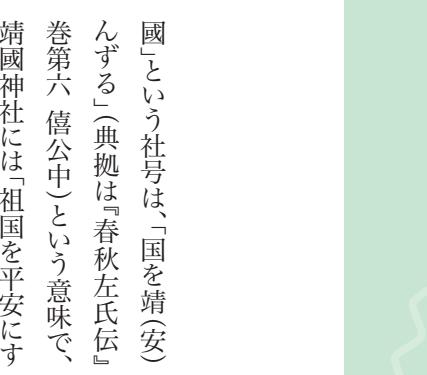
今月の遺書



境内図
38



境内図
38



境内図
38

靖國神社の起源は、明治二年（一八六九年）六月二十九日に建てられた「招魂社」に遡ります。

当時の日本は近代国家として大きく生まれ変わろうとする歴史的大変革（明治維新）の過

程にあり、そうした大変革は一方において国内に避けることのできない不幸な戦い（戊辰の役）を生み、近代國家建設のために尽力した多くの同志の尊い命が失われる結果となりました。

そこで明治天皇は、国家のために一命を捧げられたこれら人々の靈を後世に伝えようと、東京九段のこの地に招魂社を創建されたのです。招魂社はその後、明治十二年（一八七九年）六月四日に「靖國神社」と改称され、現在に至っています。

靖國神社創建の目的は、明治七年（一八七四年）一月二十七日、明治天皇が初めて招魂社に行幸の折、お詠みになられた

我國の為をつくせる人々の御製からも知られるように、世の平安を願い国家のために一命を捧げられた人々の靈を慰め、その事績を後世に伝えることがあります。

明治天皇が命名された「靖

御祭神

靖國神社には、幕末の嘉永六年（一八五三年）以降、明治維新、戊辰の役、西南の役、日清

戦争、日露戦争、満洲事変、支那事変、大東亜戦争（第二次世界大戦などの対外事変や戦争に際して、ひたすら「国安かれ」の一念のもと、国を守るために尊い生命を捧げられた二百四十六万六千余柱の方々の神靈が、身分や勳功、男女の別なく、すべて祖国に殉じられた尊い神靈（靖國の大神）とした

靖國八千代食堂（喫茶・軽食）
営業時間／10:00~17:00

鹿児島 知覧の富屋食堂で特攻の母と慕われた鳥濱トメさんの玉子丼を再現、会津のお米やお蕎麦、オリジナル和菓子のほか、抹茶・コーヒー・アルコール類の飲み物もご用意しております。

「さくら陶板」は国の礎となられた御祭神が往時歩まれたであろう故郷の土などを用い、日本が誇る伝統的文化である陶磁器焼成の技術により、神社の象徴ともいえる桜をモチーフにした陶板を各都道府県の著名な陶工たちにより制作・奉納されたものです。まことに、その技によりつくられた陶板一枚一枚が、慰霊の心とその継承を表現します。

令和元年（二〇一九）御創立百五十年にあたり、本殿にてご参拝いただいたための「みちしるべ」



SAKURA -外苑直営ショップ-
(記念品・お土産)
営業時間／9:00~16:30

桜の名所「靖國神社」ならではの、「桜」をコンセプトにした商品や、神社オリジナルのグッズ、お菓子などを販売する靖國神社直営のセレクトショップです。

靖國八千代食堂（喫茶・軽食）
営業時間／10:00~17:00



attic room YASUKUNI-GAIEN
/cafe & dining
アティックルーム 靖國外苑（喫茶・軽食）

営業時間／10:00~17:00



靖國神社
メールマガジン



オンラインによるお申し込みのご案内



御祈願



授与品・領布品



境内図
39

